

実践現場における医療的ケア児への支援

一般社団法人 ゆこり

Love it (らびっと) / Smile ring (すまいるりんぐ)

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援



代表理事（言語聴覚士）

下田 祐輝



障害児通所支援事業とは??

- 自宅から施設に通ってサービスを受けるタイプの事業の総称

※児童福祉法で定義されている

《種別》

☆児童発達支援（未就学児）

☆放課後等デイサービス（就学児）

☆居宅訪問型児童発達支援

☆保育所等訪問支援



多職で子どもの育ち（発達）のサポート と
保護者の子育てのサポートをしています！！



子どもの育ち（発達）と保護者の子育ての サポーターになりませんか！



事例1：人工鼻をすぐに外す

Hちゃんは、年中さんになる女の子です。ことばでうまく表現して伝えることができないので、気管切開部の人工鼻を床に投げ捨てることで、嫌な事や不安な気持ちを表現することがありました。ふと気づくと付けていない、そんな時もあり、装着するよう声掛けをしていましたが、それだけでは難しい状況でした。

床に落ちた人工鼻も消毒せずに付けてしまうので、衛生的にも気になっていました。



どうするべきか…？

グループ内で取り組んでいた支援

- ・Hちゃんの気持ちを共感し代弁する
⇒嫌だったね、まだ遊びたかったね等
- ・人工鼻を投げ捨てたら、消毒してすぐ装着するように実践する

取り外しが出来るからこそ、外してしまうのでは？

⇒外しても床に落ちない方法も伝えてみよう！

ケースを準備し、そこにしまう様にしてみました

Hちゃんには装着することの意味を伝えながら…

⇒別のアプローチ方法を検討する

人工鼻カバーの提案



保護者とHちゃんに人工鼻に付けるクリップを見せてみると…

付けたくないと思ったのか、それ以降人工鼻を外すことがめっきり少なくなりました。

これは思ってもいない効果となりました…が、実践してみないと分からないことも多いのです。

外すときは、運動後の息苦しさを感ずるとき等の体調の変化もよく分かるようになりました。

少しずつ気持ちの表現方法を学んでいた効果もあり、いくつもの支援の効果が重なり合った結果となりました。

事例2：痛みの表現方法

Mさんは17歳の女性です。生理がまだ不規則で、自己管理をするためにどうすれば良いのか、どこまで出来るのかを保護者とも相談しながら支援していました。Mさんは普段痛みに強く、あまり鎮痛剤を使用しませんが、鎮痛剤を使用する際には保護者に相談して受けとることになっていました。学校で過ごしている間はその方法が難しいので、つらい時は保健室に行って休むようになっています。

Mさんは痛みがどんな感じなのか、痛みがどの位なのかといった曖昧な表現が分かりにくく、伝えるのが苦手です。

そのため、生理痛のつらさも伝えることが難しい様子でした。



どうするべきか…？

生理の仕組みや痛みについて、鎮痛剤の効果について、イラストを使って分かりやすく簡単に説明。

その上で…

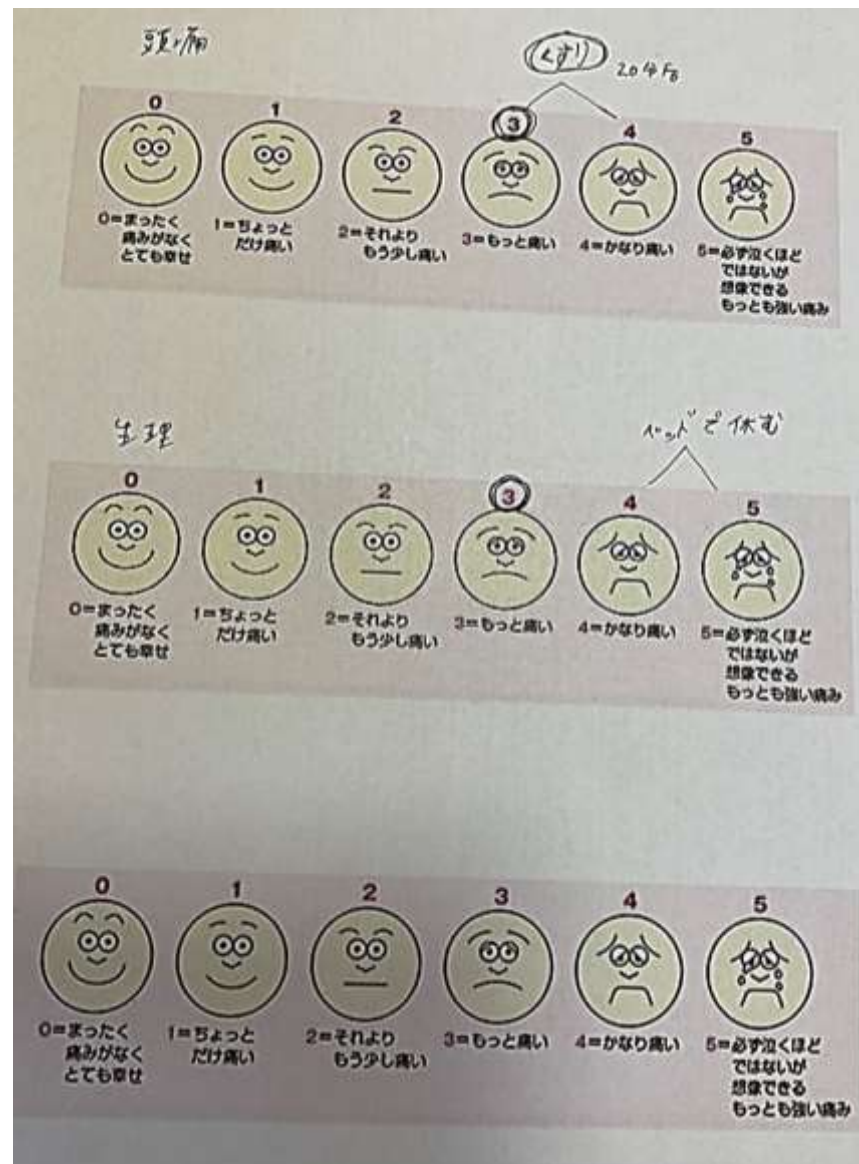
痛みの程度が第三者に伝わるような方法を検討しよう！

⇒ 5段階のフェイススケールで統一する

なぜか？

- 10段階で示すものもあるが、5段階であれば中程度の痛みは3と理解しやすい。
- 第三者も分かりやすく伝わりやすい。
- ラミネートしておけば、学校でも手軽に持ち運びが出来る。
- 統一した痛みの段階をMさん自身が理解して伝えることができる。

実際に使っている フェイススケール



事例3：便秘

S君は年中さんになる男の子です。一度、便秘をして肛門から出血するなどの痛い思いをしてから、便を出すことがとっても怖く、便が出そうになると飛び跳ねて我慢したり、泣いてトイレに行く事を嫌がります。そうすると、ますます便秘は酷くなっていきました。困ったお母さんは、ゆこりに相談されました。

【補足】

- ・病院受診はしており、坐薬や浣腸、内服など色々相談され試されていますが、坐薬に対する恐怖心もあった。
- ・便を出す事への恐怖心が何より強かった。
- ・偏食がある。
- ・絵に興味や関心があった。



どうするべきか…？

- ・相談を受けたらまずは面談をし、話をよく聞きます。

この事例の場合、看護師や保健師のみで解決することは難しいのが分かります。なぜなら、薬の調整だけでは、恐怖心を軽減することは出来ないからです。

⇒チームで情報共有し、対応を検討します。

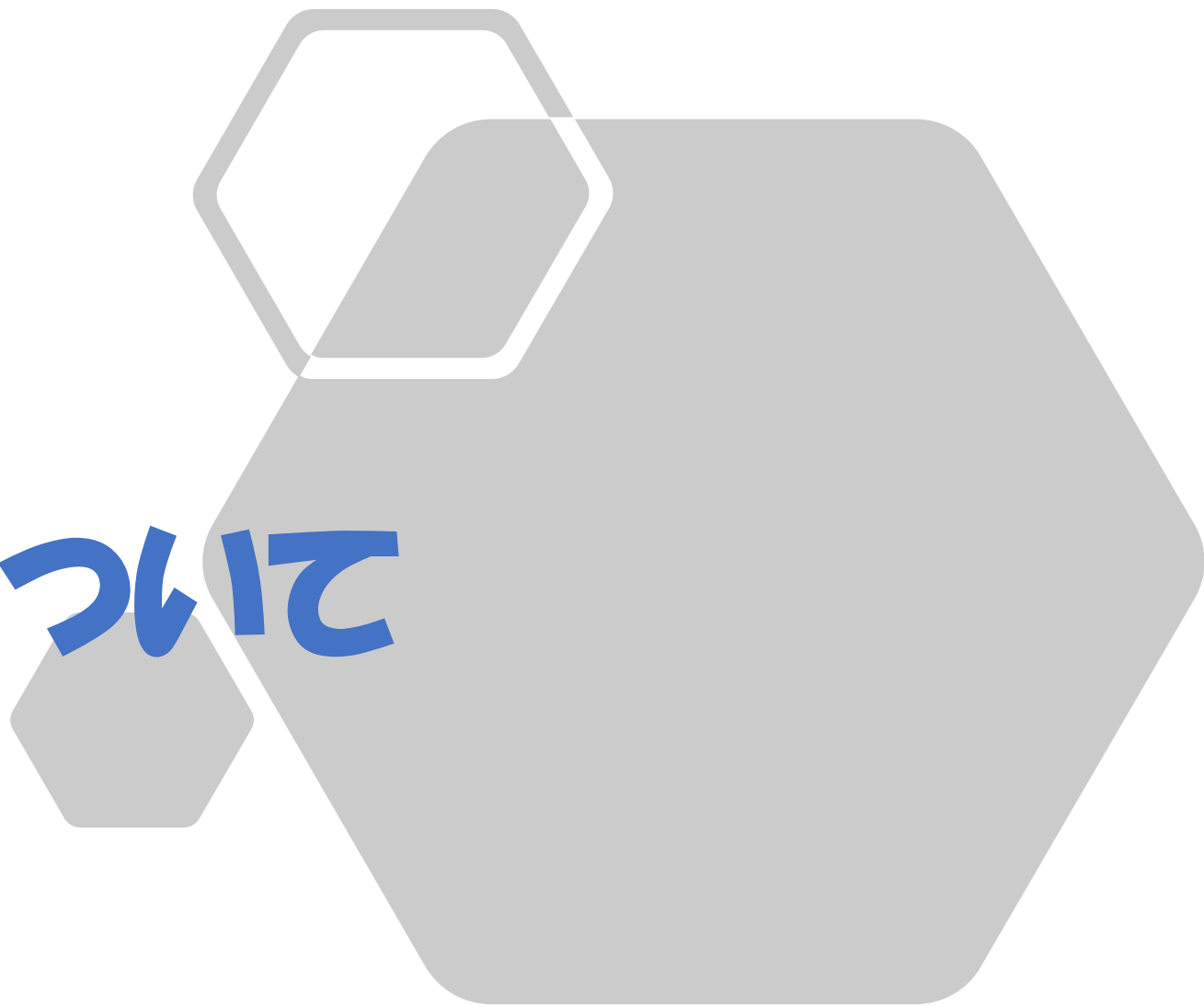
対応できることは何か？

- ・偏食を考慮した食事指導
- ・S君へ身体のしくみや便秘についての説明をする
- ・保護者の継続的な相談にのる
- ・園や病院との連携を図る

多職種チームで
サポートします



**ゆこいでの
就学支援について**



医ケア児の
多くは発達
支援も必要です

就園・就学までの流れについても分
からない、どの時期にどう動くべき
かも分からない…といった保護者が
多いのが現状です。

就園・就学について面談を行いな
が、まずは保護者の思いや考えを
聞き、必要に応じて、学校見学に
同行したり、関係各所とやり取り
を行います。就園・就学について
思いは揺れ動くことが多く、医療
的ケアだけでなく、発達特性を
ふまえた選択をしているか、
情報共有を大事にしています。

医療的ケア

・Ⅱ.

医療的ケア児の支援

実践現場における医療的ケア児への支援



@yukori.yukori

フォローよろしくお願いします！



@yukori_2018

フォローよろしくお願いします！